空き家をお持ちの方必見！空き家をリフォームして賃貸経営するのがオススメな理由とは？

空き家を有効活用するには、リフォームして賃貸経営するのがおすすめです。空き家はただ持っているだけでは何も生み出さないどころか、維持費ばかりかかってしまうだけでなく、空き家を放置すると、近隣に迷惑をかけるなどのトラブルが起こります。空き家をリフォームして賃貸経営すると、どんなメリットがあるのでしょうか。

□空き家をリフォームして賃貸経営するメリット

空き家をリフォームして賃貸すると、毎月安定した家賃収入が入る上に、空き家を管理する必要がなくなります。また空き家を賃貸すれば維持費もかからなくなります。

空き家を賃貸物件として貸し出すためのリフォームは、費用を安く抑えるのがコツです。
キッチンやトイレ、風呂場など水回りを中心にリフォームして、あとは傷みや汚れが目立つ場所に限定してリフォームし、費用対効果を上げましょう。このように、最低限のリフォームだけにすれば費用を抑えられるので、安く貸すことができるため借り手がつきやすくなります。

仮に新築同様にリフォームしてしまうと、家賃も高く設定することになり、なかなか借り手がつかないといった事態になりかねません。安定した家賃収入を得ることを目的としたリフォームは、あまりお金を掛けず家賃も安くできるようにするのがポイントです。

□空き家をリフォームする前の準備

空き家をリフォームするには、事前に家の中の荷物を片付けなければなりません。相続で実家を引き継ぐと、それまで住んでいた親が使っていた家財道具などが残ったままですから、まずそれを整理するところから始めましょう。家の中にあるものをすべて運び出し、不用品を処分してからでないとリフォームはできません。

リフォームしない場所に家財道具をまとめておいてもいいのですが、賃貸で貸す前に家の中を空っぽにしなければならないので、遅かれ早かれ片付ける必要があります。それなら、不要な荷物はリフォームを機に片付けてしまいましょう。家財道具を片付けるには、まず捨てるものと捨てたくないものを選別するところから始めます。

捨てたくないものを選り分ければ、あとは処分業者にすべて撤去してもらえばいいのです。もちろん自分で不用品を捨ててもいいのですが、リフォームの日程が迫っていたり、家財道具が多い場合は業者に頼んだほうがいいでしょう。家の中の不用品が片付いたら、リフォーム業者を呼んで見積もりしてもらいます。

□まとめ

空き家をリフォームして賃貸すると、管理する手間と維持費が必要なくなり、安定した家賃収入が得られるようになります。賃貸で貸すためのリフォームは、水回りや傷みが目立つ部分だけにして費用を抑えるのがコツで、そうすることにより、安く貸せるので借り手がつきやすくなります。